

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2111021	提出日	令和 5年 1月 23日
学生氏名	伊藤 和浩		
論文題目	対象を考慮した愚痴のデータセット構築および自動分類モデルによるケーススタディ		
要旨			
<p>愚痴とは、現実が自分の期待に反したときに発話されるものである。愚痴に関する研究は、心理学、言語学、マーケティングなどの分野で行われており、人間の基本的な行動を理解するのに役立っている。愚痴に関する研究はいくつかのアプローチで行われているが、愚痴の対象に焦点を当てた研究はまだ行われていない。愚痴の対象が異なると、感情の喚起、文法の使用、発話の意図などの観点で愚痴の機能が異なるため、愚痴の対象の検討は重要なテーマである。我々はまず、Twitterから収集した日本語テキストに対象のラベルをアノテーションし、6,418ツイートからなる愚痴データセットの構築と公開に取り組んだ。本データセットはGitHub上のページ(https://github.com/sociocom/JaGUCHI)で公開されている。次に、アノテーションされたデータセットを使って複数の機械学習モデルを構築し、テキストが愚痴であるかどうかの分類タスクでF1スコア90.4、対象ラベルの分類タスクでmicro-F1スコア72.2という結果を得ることができた。最後に本モデルを用いたケーススタディを実施し、愚痴の対象範囲の特定が社会学的分析に有用であることを示した。</p>			